

大阪ムービーサークル (略称 OMC) の沿革

■クラブの正式発足 (昭和 21 年) から今年で 64 年目になります。

戦前の昭和 10 年 (1935) に竹本正光氏 (故人) という方が 16 ミリ、8 ミリ映画の愛好者を集めて、不定期に会合を開き楽しんでいました。戦後昭和 21 年 (1946) に復活し同好の人も増えてクラブとして正式に発足、定期的に会合を持つようになりました。したがって大阪ムービーサークルが誕生してから今年で 64 年目 (平成 22 年) ということになります。

■第 1 回発表会 (昭和 35 年) から数えて、今年 (平成 22 年) は 50 回目になります。

クラブとして発表会を開始したのが昭和 35 年 (1960) でしたが、はじめの数期間は小さな会場で開催していました。しかし小型映画の振興と発表会への期待も高まってきましたので、第 8 回発表会 (昭和 43 年・1960) から、会場を淀屋橋の朝日生命ホールに移し、以後 28 年間小型映画発表会の晴舞台として開催されてきました。

一方、この頃から 8 ミリフィルムからビデオ化の流れが加速し、会員の減少、作品数の落ち込み等で会の運営は危機的状況になっていました。

そこで発表会場も経費節約の意味もあって第 37 回 (平成 9 年・1997) より阿倍野市民学習センター講堂へ、更に 44 回 (平成 16 年・2004) 発表会から昨年第 49 回 (平成 21 年) まで大阪市立中央会館ホールにて開催して参りました。お陰様でこの間途切れることなくたくさんの観客の皆様をお迎えすることが出来感謝いたしております。

今年は発表会 50 回目を記念し、かつての小型映画発表の夢舞台でもありました朝日生命ホールにて開催することにしました。思い出多い発表会になることを期待しております。

■会報も今年 (平成 22 年) 10 月号で 538 号を数えます。

毎月 1 回 B5 版 4 頁で発行しています。会報のナンバーからもクラブの歴史の深さを物語っております。

■インターネットで紹介しています。

大阪ムービーサークルで検索してみてください。毎月の例会における代表作品を動画で発表していますのでご覧になってください。

<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

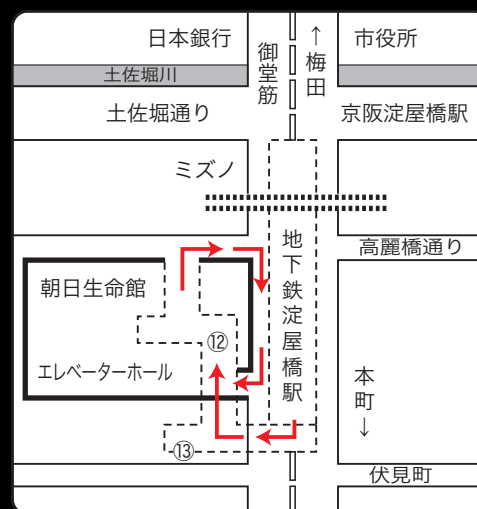
第50回記念

OMC 映像フェスティバル

主催 大阪ムービーサークル
後援 大阪アマチュア映像連盟
日本アマチュア映像作家連盟

大阪ムービーサークル 第50回記念

OMC 映像フェスティバル



地下鉄淀屋橋駅下車。本町寄り改札を出て右へ。12番出口から御堂筋を右へすぐ。エレベーターで8階へ

朝日生命ホール

大阪市中央区高麗橋 4-2-16
〒541-0043 TEL 06-6202-3919

大阪ムービーサークル

事務局 豊中市上新田 4-16-1-33
合原一夫 TEL 06-6833-9227

平成 22 年 10 月 17 日 (日)
12 時 30 分開場 13 時上映
大阪淀屋橋 朝日生命館 8 階

朝日生命ホール

STEREOëYe

立体写真・立体映像撮影
3D 機材・3Dメガネ等も販売中
<http://www.stereoeye.jp/>

ごあいさつ

お陰様でOMCの映像発表会も50回目を迎えました 大阪ムービーサークル 会長 合原一夫

かつて8ミリ映画全盛時代だった1968年(昭和43年)の第8回映写会から1996年(平成8年)の第36回映像フェスティバルまで28年間、この思い出多き朝日生命ホールで発表会を行なってきました。

その後、いろいろと多難な道もあり、目まぐるしいメディアの変化もあり、発表会場も阿倍野市民学習センター講堂、大阪市立中央会館へと場所を変えてきました。

今回、50回目という節目を迎えるに当たり、かつての小型映画発表の夢舞台であった朝日生命ホールでもう一度やろう、という会員諸氏の声に応えて、今年は淀屋橋の朝日生命ホールで開催することになりました。

いま話題の3D作品も登場いたします。アマチュアの発表会では初めてではないかと思っております。

どうかお誘い合わせの上ご来場賜りますようご案内申し上げます。

お祝いの言葉

日本アマチュア映像作家連盟 事務局長 川上勝晤

このたび第50回記念発表映写会の開催をお祝いし謹んでお喜び申し上げます。

全国には600に及ぶ映像クラブがありますが、50回の映写会と言うのは殆ど例がなくこの快挙を築かれるまでのクラブを運営されてきた役員・世話人の方々のご苦労と努力の成果と心からの賛辞を呈する次第です。

古い文献によりますと、大阪ムービーサークルの誕生は昭和10年、日本で最も古い歴史と伝統を誇る映像クラブで、戦前、戦中、戦後、平成とそれぞれの時代に活躍された、わが国映像界の重鎮であり関西の元老格の作家であり指導者の殆どがOMCに籍をおかれた名門クラブとしての格調と実績をもって、わが国アマチュア映像界の模範的クラブとしてその運営手法は全国から注目されており、今後も映像界の牽引車として益々のご発展とご活躍を祈念してお祝辞とします。

プログラム 第1部

1, **ラマザン in イスタンブール** HDV 6分 山本正夢
ラマダンをとルコではラマザンと言い、楽しみは日没後家族そろっての夕食。

2, **北国脇往還 戦国桜街道** ワイド 11分 森口吉正
伊吹山麓から賤ヶ岳に至る道。戦国ロマン溢れる歴史街道はいま春爛漫。

3, **トロッコの走る森林** HDV 6分 渡辺雄史
昔、木曾ヒノキを運んでいたトロッコが今も元気に走っている。

4, **竹の精霊** DV 6分 玉井 勻
北陸路でみた越前竹人形が、逝った姉のこころやさしい記憶を蘇らせる。

5, **長浜曳山祭** HDV 18分 河合源七郎
子供歌舞伎を主役に太閤秀吉ゆかりの町衆が一週間続けて繰り広げるカミとの宴。

6, **58654** HDV 10分 山口幸代
多くのファンに惜しまれつつ引退して5年、みごと復活を遂げたハチロクの雄姿。

7, **トンボ仲間** テレシネ 20分 上総修一郎
開業医のかたわら、とんぼの生態研究に生涯を捧げる或る医師の人生を描く。

8, **戦国武将集結** HDV 15分 吉岡貞夫
この上杉まつりは長く厳しい冬を乗り越え春の訪れを告げる雪国・米沢の風物詩。

9, **モンブランを望みながら** HDV 9分 関 剛
エギュデュミディからイタリアへ。氷河上で40分の宙吊りゴンドラはスリル満点。

休 憩

プログラム 第2部

10, **イグアスの滝** HDV 10分 華岡 汪
絶えることなく凄まじい轟音と水煙をあげる、南米大陸の大瀑布を訪ねて。

11, **御坊臨港線** HDV 7分 江村 一郎
昭和3年に街と港をむすぶため、有志によって設立された日本一小さな私鉄。

12, **「わ」は力なり** HDV 10分 進藤信男
溪のエドヒガン桜を生き返らせようと、仲間を集めて取り組む人々の活動と喜び。

13, **伝統を受け継ぐ菅細工** ワイド 15分 岡本至弘
かつて深江周辺は菅が自生する沼地だった。地場産業の菅笠復活に取り組む人々。

14, **空港周遊** HDV 10分 有村 博
飛行機をまぢかで見たい一心で、伊丹空港の周辺を自転車に乗り廻ってみた。

15, **神戸ルミナリエ 2009** 3D 8分 井上勝彦
神戸ルミナリエ。2台のカメラを使って3Dで表現してみた。さてその結果は…。

16, **大井川鉄道のSLたち** HDV 15分 前田茂夫
「戦場に架ける橋」の泰面鉄道で使われたC5644は今も大井川鉄道で大活躍。

17, **古寺幽玄** HDV 13分 黒田敏彦
静寂の夜に舞う伝統の御神楽。幽玄美の極地へいざなう神仏混合の儀がいま再び。

18, **ツリーの最後** テレシネ 13分 合原一夫
苦勞して造り上げ華やかに登場、そして消えた万博スイス館。40年目にして甦る。

終了 18時頃